オムロン (株)

CS/CJ シリーズ イーサネット (TCP)

GP1台とPLC1台の接続

1	対応機器一覧	.2
2	動作環境	.5
3	全体の流れ	.6
4	STEP1 接続方法: PLCとパソコンをラダー転送ケーブルで接続	.7
5	STEP2-I ①CX-Programmerの通信設定とPLCへの書き込み	.8
6	STEP2-II ②CX-NET ネットワークコンフィグレーションの通信設定とPLCへの	書
	き込み	15
7	STEP3 GP本体でIPアドレスの設定を行う	21
8	表示器/接続機器設定	24
8	.1 STEP4-I GP-Pro EXでの表示器/接続機器の設定(新規作成の場合)	24
8	.2 STEP4-II GP-Pro EXでの表示器/接続機器の設定(設定を変更したい場合)	27
9	STEP4-Ⅲ 通信設定【GP-Pro EX】	30
10	STEP4-IV 画面転送	32

1. 対応機器一覧

【タッチパネル】	シリーズ	備考
GP	GP-3301S/L 以外の	
	GP3000 全機種	
%GP-3301S/L ⋅ ST300	00 シリーズはイーサネット I/F がないた	め、対応しておりません。
【ケーブル】	型式	備考
USB 転送ケーブル	(株)デジタル製	イーサネット転送・CF カ
	CA3-USBCB-01	ード転送・USB ストレー
		ジで転送する場合は、マニ
		ュアルをご参照ください。
ラダー転送ケーブル	(株)デジタル製	
	オムロン SYSMAC リンクケーブル	
	CA3-CBLSYS-01	
	オムロン(株)製	
	XW2Z-200S-V または XW2Z-500S-V	
	自作ケーブル	結線図は、マニュアルをご
		参照ください。
LAN ケーブル	市販の LAN ケーブル	ストレートケーブル推奨
【その他】		
HUB	市販の HUB	

【オムロン(株)PLC】	CPU	リンク I/F
SYSMAC CS シリーズ	CS1G-CPU45	CS1W-ETN01
	CS1G-CPU44	CS1W-ETN11
	CS1G-CPU43	CS1W-ETN21
	CS1G-CPU42	
	CS1G-CPU45H	
	CS1G-CPU44H	
	CS1G-CPU43H	
	CS1G-CPU42H	
	CS1G-CPU45-V1	
	CS1G-CPU44-V1	
	CS1G-CPU43-V1	
	CS1G-CPU42-V1	
	CS1H-CPU67	
	CS1H-CPU66	
	CS1H-CPU65	
	CS1H-CPU64	
	CS1H-CPU67H	
	CS1H-CPU66H	
	CS1H-CPU65H	
	CS1H-CPU64H	
	CS1H-CPU63H	
	CS1H-CPU67-V1	
	CS1H-CPU66-V1	
	CS1H-CPU65-V1	
	CS1H-CPU64-V1	
	CS1H-CPU63-V1	

【オムロン(株)PLC】	CPU	リンク I/F
SYSMAC CJ1	CJ1G-CPU45	CJ1W-ETN01
	CJ1G-CPU44	CJ1W-ETN11
	CJ1G-CPU45H	CJ1W-ETN21
	CJ1G-CPU44H	
	CJ1G-CPU43H	
	CJ1G-CPU42H	
	CJ1M-CPU23	
	CJ1M-CPU22	
	CJ1M-CPU21	
	CJ1M-CPU13	
	CJ1M-CPU12	
	CJ1M-CPU11	
	CJ1H-CPU66H	
	CJ1H-CPU65H	
SYSMAC CJ2	CJ2H-CPU64-EIP	CPU ユニット上
	CJ2H-CPU65-EIP	の Ethernet/IP ポート
	CJ2H-CPU66-EIP	
	CJ2H-CPU67-EIP	
	CJ2H-CPU68-EIP	CJ1W-ETN21
SYSMAC CP1	CP1H-XooDR-A	CJ1W-ETN21
	CP1H-X00DT-D	
	CP1H-XooDT1-D	
	CP1H-XAooDR-A	
	CP1H-XAooDT-D	
	CP1H-XAooDT1-D	
	CP1H-YooDT-D	

(2009年11月11日現在)

※ 対象 PLC は今後も増える場合があります。

2. 動作環境

本資料で説明される接続方法の動作環境は、以下の通りです。

- ① パソコン (GP-Pro EX がインストールされているパソコン)
- ② (株)デジタル製 GP1台 (GP-3500S)
- ③ (株)デジタル製 USB 転送ケーブル (CA3-USBCB-01)
- ④ オムロン(株)製ラダー転送ケーブル (XW2Z-200S-V)
- ⑤ オムロン(株)製 PLC (CJ2H-CPU64-EIPの CPU 上の内蔵 EtherNet/IP ポート)
- ⑥ 市販の HUB
- ⑦ 市販の LAN ケーブル 2本



3. 全体の流れ



4. STEP1 接続方法: PLC とパソコンをラダー転送ケーブルで接続



パソコンと PLC をラダー転送ケーブルで接続してください。 パソコンと GP を USB 転送ケーブル、または LAN ケーブルで接続してください。 LAN ケーブルで GP と PLC を HUB を介して接続してください。

以上で STEP1 接続方法: PLC とパソコンをラダー転送ケーブルで接続は終了です。

次に、STEP2-I ①CX-Programmer の通信設定と PLC への書き込みへ進んでください。

5. STEP2-I ①CX-Programmer の通信設定と PLC への書き込み

通信設定には、下記のソフトウェアでの設定が必要です。

① CX-Programmer

PLC にデータを転送するためのオムロン(株)用ラダーソフト (本資料では、CX-ProgrammerV8.01を使用しています。)

② CX-NET ネットワークコンフィグレーション
 イーサネット通信プログラムを転送するためのソフトウェア
 (本資料では、CX-ネットワークコンフィグレーションV3.4.0.4を使用しています。)

[CX-Programmer の設定]

オムロン(株)用ラダーソフト【CX-Programmer】を起動します。

メニューバーの【ファイル】→【新規作成】を選択します。

📟 CX-Programmer					
7711(E)	表示⊙	PLC(<u>C</u>)	ツール①	_^ルフ°(<u>H</u>)	
■新規作成(N)			Gtrl+N	EL2CA448 8 9	?
屋開(⊙)			Ctrl+O		_
				- 5 📜 🐼 - 1	н. 1

次のような【PLC 機種変更】のウィンドウが表示されます。

【PLC】ネームは任意で決めてください。(例:新規 PLC1)

PLC機種変更	
PLCA-4	
斯規PLC1	
PLC機種	■ 設定(S)
イットワーク種方リ Toolbus	▼ 設定で)
↓ マ すべて表示	
	<u> </u>
OK +++>セル	<u>^⊮フ°(H</u>)

次に、【PLC 機種】の設定を行います。

プルダウンよりお使いの PLC を選択します(本資料では CJ2H)。 PLC 機種を選択後、【設定(S)】をクリックします。

【PLCの機種の設定 [CJ2H]】ウィンドウが表示されますので、

【一般】タブの【CPU形式】の設定を行います(本資料では CPU64-EIP)。

PLC機種変更			
PLCネーム 新規PLC1			PLC 機種の設定 [CJ2H]
PLC機種 CJ2H	(Ê(S)		一般
ネットワーり種別 Toolbus	行任		CPU形式 CPU64-EIP
אלאב –		I	,
ОК + +у/±/l	^⊮フ°(<u>H</u>)		

以上で【PLC 機種】の設定は終了です。

【OK】をクリックし、ウィンドウを閉じてください。

次に PLC と通信を行います。

メニューバーの【PLC】→【オンライン接続】を選択します。



次のメッセージが出たら【はい】を選択します。



次に、PLCの動作モードをプログラムモードに切り替えます。 メニューバーの【PLC】→【動作モード】→【プログラム】を選択します。



次のメッセージが出たら【はい】を選択し、プログラムモードに切り替えます。

CX-Pro	grammer v8.0
⚠	PLOの動作が停止しても問題がないことを確認してください。 プログラムモードにしてもよろしいですか?

(IPアドレスの変更)

※IP アドレスの変更をしない場合は、16ページの PLC への転送へ進んで下さい。

【本体の IP アドレスの確認方法】

PLC の電源を投入した際、右上にあるディスプレイに流れ表示されますので、そちらでご確認ください。

【本体の IP アドレス変更に伴う注意事項】 本体の IP アドレスを変更した場合は、CPU のノード No.を変更する必要があります。 こちらのノード No.は、本体の IP アドレス末端と合わせてください。 ただし、ノード No.は HEX で設定してください。



プログラムモードの状態で【I/O テーブル・ユニット設定】をダブルクリックします。



下記ウィンドウが表示されますので、【内蔵ポート/インナーボード】をダブルクリックしま す。その後、サブタイトルが表示されますので、【[1500]CJ2B-EIP21(CJ2 用内蔵 EtherNet/IP ポート)(ユニット:0)】をダブルクリックします。



下記ウィンドウが表示されますので、【TCP/IP】を選択し、IPアドレスを入力します。 その後、【転送[パソコン→ユニット]】を選択します。

)J2B-EIP21 [ハ*ラメータの編集]			
TCP/IP			
IP7ドレス ・ ・ ののアドレスを使用する ・ ・ ののアドレスを使用する ・ ・ ののアドレスを使用する ・ ・ ののアドレスを使用する ・ ・ ののので のののののののののの			
IPアドレス 192 168 10 5 優先DNSサーバ 0 0 0			
サブ ^ネ ットマスク 0 0 0 0 代替DNSサーバ 0 0 0			
デウォルトゲートウェイ 0 0 0 トジメイン名			
 ● アナキンスをBOOTPサーハから取得する ● BOOTP設定は水回のユーッヤウメタート(電源再投入)で1 回のみ有効です。 ● 子の後、BOOTP設定は解消されます。 ■ 取得できたIPアトやスは、システム設定としてユニット内に自動 (保存します。 ● 一斉同報 ● すべて 1 (4.3BSD) ● すべて 0 (4.2BSD) 			
転送[ユニット→パソコン](E) 転送[パソコン→ユニット](T) 照合(C) リスタート(R)			
デウォルト設定に戻す(E) OK キャンセル			

		本資料設定
IP アドレス	任意	192.168.10.5

下記ウィンドウが表示されますので、【はい】を選択します。



転送が完了すると下記ウィンドウが表示されますので、【OK】を選択します。

ハ*ラメータの編集	
転送完了	ОК

ユニットをリスタートしますので、【はい】を選択します。

バラメータの編集		
2	転送した設定を有効にするには、ユニットをリスタートする必要があります。 ユニットをリスタートしますか。	

下記のウィンドウが表示されますので、【OK】を選択します。



最後にすべてのウィンドウを閉じて、(IP アドレスの変更)は終了です。

次に PLC へ転送します。

メニューバーの【PLC】→【転送】→【転送[パソコン→PLC]】を選択します。

ıŁ۹	中] - 新規PLC1.新規プログラム1.セクシ	aン1 [591-図]]
Ð	PLC(<u>O)</u> プログラム(P) シミュレーション(<u>S</u>) ツト	-ル① ウィンドウ⊘ ∿ルプ(⊞)
	▲ オンライン接続(₩) Ctrl+W 自動オンライン接続(№)	, *** •5 L.D.C ***
3	動作モート [、] (<u>M</u>) モニタ(<u>O</u>)	·◎ ⊕ ③ 参 ▶ ■ Ⅱ ▶ ½ ⅔ ▶ ■ 점 K ← ★
×	金フ ロケラムコンハペイル (チェック)(A) F7 フ ロケラムチェックオフ (ション)(L) フ ロケラム 手ェックオフ (ション)(L) アロケラム 割付 (L) メモリ割付 (Y)	ימיאנין] ▶
	転送(<u>R</u>)	▶ 💁転送[ハ*ソコン→PLC](Ţ) Ctrl+T
	部分転送(P)	▶ 🛃 転送[PLC→ハ°/コン](<u>F</u>) Ctrl+Shift+T
	フ ゚ ᠋᠋ᠴ᠋ᡔ᠋᠋᠋᠋ᡔ᠋ᡃ᠋ᠵ᠋	▶ 💦 照合[/*/コン-PLC](<u>C</u>)
	メモリオールクリア(<u>C</u>)	
-9	PLC情報(E)	ファイルから読出(M)

【転送オプション[パソコン→PLC]】ウィンドウが表示されますので、以下のように チェックを入れ、【OK】を選択します。

D
-

次のメッセージが出たら【はい】を選択します。

OX-Pro	ogrammer v8.0 🛛 🕅
♪	このコマントは接続中のPLCの状態に影響があります。 続けますか?

以上で **STEP2-I** ①CX-Programmer の通信設定と PLC への書き込みの設定は終了です。 次に、

STEP2-II ②CX-NET ネットワークコンフィグレーションの通信設定とPLCへの書き込み

の設定を行います。

6. STEP2-II ②CX-NET ネットワークコンフィグレーションの通信設定と PLC への書き込み

通信設定には、下記のソフトウェアでの設定が必要です。

① CX-Programmer

PLC にデータを転送するためのオムロン(株)用ラダーソフト (本資料では、CX-ProgrammerV8.01を使用しています。)

② CX-NET ネットワークコンフィグレーション
 イーサネット通信プログラムを転送するためのソフトウェア
 (本資料では、CX-ネットワークコンフィグレーションV3.4.0.4を使用しています。)

[CX-NET ネットワークコンフィグレーション]

CX-NET ネットワークコンフィグレーションを起動します。

メニューバーの【プロジェクト】→【新規作成】を選択します。

🏯 無題 - CX-Net: PLCネットワー	-ウコンフィヴレーションツール 📃 🗖 🔀
プロジェクト(<u>P)</u> PLC(<u>C</u>) ルーヂンクテーフ	゙ル(B) データリンク(L) ヘルプ(H)
新規作成(<u>N</u>) 開((Q) 閉じる(<u>C</u>)	115 * 5 16 17 ?
名前を付けて保存…(<u>A</u>)	
編集(E) PLC3宣加(D) PLC変更(H) FinsGatewayサービスマネージャ(E) PLC3通信本 ^で トのスキャン(S)	
1 eee 2 www 3 rrr 4 zzz	(フラームフ・オコニグ) エード・ズ(日
終了凶	ארידאג: איזען דרי : איזען א אריין איזען איז

【プロジェクト作成】ウィンドウが表示されますので、保存する場所を決めます。

プロジュクトの作成					? 🗙
保存する場所①:	🔁 לם לב	•	(-	I 💣 🎟	
CSCJシリーズ CX-Programmed CMUDP_1:1 CMUDP_N:1	r V8.01				
ファイル名(N):	オムロンCJ2Hイーサ[cdm			保存	<u>S</u>)
ファイルの種類(工):	CX-Serverንግንዥታኑ (*.cdm)		•] <u></u> ++>1	211

【PLCリスト】ウィンドウが表示されますので、【追加】を選択します。



【設定 PLC】に【新規 PLC1】が表示されますので、【名称】・【PLC】・【ネットワーク】の 設定をします。

PLCUZE - C:¥Doc	uments and Se	ttings¥SESA12	21114¥デフ	くクトップ 🔀
_厂 設定PLC				
名称	PLC	ネットワーク	100	
新規PLC 1	CJ2H	Toolbus		
1				
	追加(<u>A)</u> 名前の変	Ē更(B)	肖川徐(<u>D</u>)
PLC: CJ2H			_ <u> </u>	設定(S)
ネットワーク : Toolbus	8		•	設定(E)
]				
		問	" a	~JL7*(H)
		1911		465 410

【名称】は任意で決めてください。(例:新規 PLC1)

次に【PLC】の設定を行います。プルダウンよりお使いの PLC を選択します。(例:CJ2H) PLC 機種の設定が終了しましたら、【設定(S)】を選択します。

選択しますと、【PLCの機種の設定 [CJ2H]】ウィンドウが表示されますので 【一般】タブの中の【CPU形式】の設定を行います。(例:CPU64-EIP)



【OK】を選択してウィンドウを閉じてください。 同様に、【PLC リスト】の【閉じる】を選択してください。

PI	LCUXF -	C:¥Doc	ument	s and Se	ttings ¹	≨S ES A1	21114¥デ	スクトップ	. 🗙
_	設定PLC —								
	名称		PLC		ネットワー	<u> </u>	1000		
	創 新想	見PLC 1	CJ2H		Toolbu	s			
				追加(<u>A)</u>	名前の図	変更(<u>R</u>)	削除(<u>D</u>)	
	PLC :	CJ2H					•	設定(<u>S</u>).	
	<u>ネットワ−</u> ク :	Toolbu	3				.	設定(E).	
Γ	אינאן								
L					(BB		AIL 79(LI)	
							00	- (U) (<u>U</u>)	

選択しますと下のメッセージが表示されますので、【はい】を選択します。



次に PLC と通信させます。

メニューバーの【PLC】→【オンライン接続】を選択します。

🟯 www.cdn	n - CX-Net: PLCネク	•トワークコンフィグレーションツール 📃 🗖 🔀
7°ロジェクト(Ⴒ)	PLC(C) ルーチングテーフド	ル(B) データリンク(L) ヘルフ°(H)
B B	オンライン接続(<u>O</u>) 「情報(D	<u> </u>
プロンジュウトPl www.cdm Ⅲ新規P	モード設定(M) PLC異常ステータス(E) PLCジステム設定(S) I/Oテーブル設定(T)	bus
指定したプロジュ	ヒクトPLCとオンライン接続しま	す ステータス:オフライン モード:不明

次にルーチングテーブルの設定をします。

メニューバーの【ルーチングテーブル】→【設定】を選択します。

🟯 www.cdm - CX-Net: PLC4	ネットワークコンフィクシレージ	ションツール	
プロジェクト(Ⴒ) PLC(<u>C</u>) ネットワーク(<u>N</u>)) ルーチングテーフ [*] ル(<u>R</u>)	データリンク(L) ^ルプ(<u>H</u>)	
B B B B B B B B B B		101 2	
7泊ジ±ウトPLC www.cdm 新規PLC 1			
	Toolbus	CJ2H CPU64-EIP	ノート* 05 ▼ ネットワーク 0
ルーチンクテーフルを設定します		ステータス : オンライ	2 <mark>ቺ-ኑ፣ ፡ ንግንንንል</mark>

【PLC ルーチングテーブル】のウィンドウが表示されます。



【自ネットワークの詳細入力】ウィンドウが表示されます。

É	ネットワークの詳細入力	
	高機能ユニット番号 自ネットワーク番号	
	ОК	キャンセル

自ネットワーク番号は任意で決めてください。

次のメッセージが出たら【はい】を選択します。

Routing Table	
この番号の高機能1/0ユニットがあります - 続けますか?	
(まい)() いいえ(い)	
【PLC ルーチングテーブル】の0番エリアが、以下	。 のように表示されます。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 8	
225252253	

以上でルーチングテーブルの設定は終了です。

次にルーチングテーブルを PLC に転送します。

メニューバーの【オプション】→【転送[パソコン→PLC]】を選択します。



次のメッセージが出たら【はい】を選択します。

Routing	Table
♪	このルーチンケテーフルをPLOに転送してもよろしいですか?

次のメッセージが出たら【OK】を選択します。

Routing	Table 🔀
(į)	ルーチンケテーフルをPLCへ転送できました。
	OK

※ 最後に、PLCの電源を再投入してください。

以上で、

STEP2-II ②CX-NET ネットワークコンフィグレーションの通信設定と PLC への書き込みは 終了です。

次に STEP3GP 本体で IP アドレスの設定を行うへ進んでください。

7. STEP3 GP本体で IP アドレスの設定を行う

GP本体でIPアドレス/サブネットマスクの設定をして頂く必要があります。 GP本体よりオフライン画面に入ります。

オフライン画面とは、システム設定・自己診断などを行う画面のことです。 運転する前の準備をこちらで行います。

オフライン画面への入り方

【電源投入時】

起動中画面表示後に、パネルの右上隅または左上隅(縦横40ドット以内)を3秒以上 タッチします。





【運転時】

パネルの右上隅 → 左下隅または左上隅 → 右下隅(縦横 40 ドット以内)の順に 0.5 秒以内にタッチします。



画面にシステムメニューが表示されますので【オフライン】をタッチすると、 オフライン画面に入ることが出来ます。





下記のように設定します。

※ GPの IP アドレスの設定はオフライン画面でのみ設定することが出来ます。

		本資料設定
IP アドレス	任意 ※1	192.168.1.11
サブネットマスク	任意	255.255.255.0
ポート番号	8000 *2	8000

※1 設定値はネットワーク管理者に確認してください。

 ※2 ここで設定する【ポート】番号はイーサネット経由でのセットアップや プロジェクトファイル転送、Pro-Server EX 使用時の通信の際に設定する ポート番号です。
 初期値【8000】のままご使用ください。

以上で**STEP3**GP本体でのIPアドレスの設定を行うは終了です。

次に **STEP4** の設定を行います。

GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定を【新規作成する場合】は STEP4- I へ GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定を【設定を変更したい場合】は STEP4- II へ 進んでください。

8. 表示器/接続機器設定

8-1. STEP4-I GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定(新規作成の場合)

【GP-Pro EX】を起動します。



ウィンドウが表示されますので【OK】を選択します。

【ようこそ GP-Pro EX へ】という画面が表示されますので【新規作成】をクリックし、 【OK】を選択します。



次に、表示器タイプの設定(シリーズ、機種、設置方法)を行い、【次へ】を選択します。 (例 GP-3500S で設置方法横型の場合)



下記のように設定します。設定が終了しましたら【ベース画面作成】を選択します。

接続機器数	1
メーカー	オムロン(株)
シリーズ	CS/CJ シリーズイーサネット
ポート	イーサネット(TCP)

以下の画面が表示されます (こちらの画面から作画を行ってください)。



以上で **STEP4-I** GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定(新規作成の場合) 終了です。

次に、**STEP4-III**通信設定【GP-Pro EX】 へ進んでください。

8-2. STEP4- II GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定(設定を変更したい場合)

[表示器を変更する方法]

メニューバーの【システム設定】→システム設定ウィンドウの【機種設定】→ 【表示器変更】を選択します。



【表示器変更】ウィンドウが表示されますので変換先の表示器の設定(シリーズ、機種、 設置方法)を行います。

【変更】を選択しますと以下のウィンドウが表示されます。



機種の変更を行う場合は【はい】を選択します。

[接続機器を審測変更は結子です。

メニューバーの【システム設定】→システム設定ウィンドウの【接続機器設定】→ 【接続機器変更】を選択します。



【接続機器の変更】ウィンドウが表示されますので、変更後の設定を行います。

下記のように設定します。設定が終了すれば【変更】を選択します。

メーカー	オムロン(株)
シリーズ	CS/CJ シリーズイーサネット
ポート	イーサネット(TCP)

【変更】を選択しますと以下のウィンドウが表示されます。



接続機器の変更を行う場合は【OK】を選択します。 以上で接続機器の変更は終了です。

以上で **STEP4-II** GP-Pro EX での表示器/接続機器の設定(設定を変更したい場合) 終了です。

次に **STEP4-Ⅲ**通信設定【GP-Pro EX】へ進んでください。

9. STEP4-III 通信設定【GP-Pro EX】

メニューバーの【システム設定】→システム設定ウィンドウの【接続機器設定】を 選択しますと接続機器設定画面が表示されます。

こちらの【接続機器設定】画面では、GPの通信設定を行います。

「茶 GP-Pro EX つちりょうトロン 聖集(E) 表示(A) 共通数	(2) GP-Pro EX プロジェクトローを集合() 表示() 共通数定(9) 画面(3) ヘルプロ)				
	Q, 7/62- » 😋 公款 » 😭 million » 🖓 15.5				
800 0 0 0 0 0 B	■ 6 3 13 00 10 × 17 1000				
(525ム)発電ウインドウ 単 表示自該定 報酬(設定)	× 表示器かけす メリーズ 0.0P0000 Series 報題 A3P-0600T 製造方法 構型				
主任法定 ロジークブログラム設定 ビデオ(計画数定					
2#24380元	新草 <u>抽洗掉起大更</u>				
際の後期設定	メーカー オムロン(W) ジリーズ (CS/CJ ジリーズ イーサネット: ホート イーサネット(TCP)				
1117740 - Sr	жтяля-уе-к <u>1</u> 22				
HIGH BINE	A1022				
	术				
入力發展設定	34(177) 3 = (nec)				
入5071設定	9F54 0 a				
VOF54//IRE	送信ウェイト D @ (ma)				
ETP-9-/3892	自用2下6ス				
TARE	2017-0 P C				
画像 2二ット設定	V-P T BINNER				
	格器2/版定 接近可能台致 10位 曲 Na 編纂名 設定				
	▲ PLC1 (計) アアドレス=000.000.000.ポート番号=9600.ポットワーク=0.ノード=1				

下記のように設定します。

通信設定		本資料設定
タイムアウト	任意	3
リトライ	任意	0
送信ウェイト	任意	0

自局アドレス		本資料設定	
ネットワーク	任意 ※	0	
ノード	任意	1	

※ ネットワークは PLC 側の設定(10、19ページ)と合わせる必要があります。

次に個別機器設定を行います。こちらで PLC の設定を行います。

通信設定の下にあります機器別設定の【設定】を選択します。

機器別設定	
接続可能台数32台 📊	\sim
No. 機器名	
👗 1 PLC1	IPアドレス=000.000.000.000,ポート番号=1025,交信データコード設定=バイナリコー

【個別機器設定】ウィンドウが表示されます。

💑 個別機器設定					
PLC1					
IPアドレス	192.	168.	10.	5	
ポート番号	9600	\$			
相手先アドレス――					
ネットワーク	0	\$			
ノード	5	\$		E	初期設定
		ок(<u>о</u>		*	ャンセル

下記のように設定します。

		本資料設定
IPアドレス	任意 ※1	192.168.10.5
ポート番号	9600 ※2	9600
ネットワーク	任意 ※3	0
ノード	IP アドレスの末端と合わせてください。	5

్	1	設定値はネットワーク管理者に確認してください。
		IP アドレスは GP の IP アドレスと重複しないように設定してください。
		PLC の設定(14 ページ)と合わせてください。
\•/	0	μ) 平日 0000 は OV D μ 個 の デフ ハ) よ し 平日 不 +

- ※ 2 ポート番号 9600 は CX-Programmer 側のデフォルトポート番号です。
- ※ 3 ネットワークは PLC 側の設定(10、19ページ)と合わせる必要があります。

以上で STEP4-III 通信設定【GP-Pro EX】は終了です。

次に STEP4-IV 画面転送へ進んでください。

10. STEP4-IV 画面転送

メニューバーの【画面転送】を選択すると【転送ツール】ウィンドウが表示されます。



下記のように設定します。

		本資料設定
通信ポートの設定	任意 ※	USB
プロジェクト転送	任意	自動
システム転送	任意	自動

※転送方法をイーサネットやCFカード/USBメモリで行う場合はリファレンスマニュアルを ご覧ください。

設定終了後、【OK】を選択します。

最後に転送ツールの【プロジェクト送信】を選択します。



以上で STEP4-IV 画面転送は終了です。

GP-Pro EX での設定は、以上で終了となります。

以上でオムロン(株)CS/CJシリーズ イーサネット(TCP)の接続は終了です。